

学校運営方針		学校運営計画(4月)			
昨年度の成果と課題		「創立百周年を機に伝統の再確認と時代を見据えた改革を行い、引き出すことと鍛えることを大切に学校活性化と生徒の能力伸長を図る」			
		年度重点目標	具体的目標		
昨年度は、本校の課題を「伝統の継承と時代を見据えた改革」とし、全教職員が一丸となった教育活動ができる体制を整え、その成果は保護者や同窓会、地域からも高い評価を得ることができた。学校周辺地区の生徒数の減少が予想される中、中学校や塾への広報活動の強化なども進み、本校の志願者確保についても成果が上がっている。しかし、学校を取り巻く環境の変化は著しく、今後も検討・改善を必要とする課題は多い。特に、生徒の希望進路の実現においては、目標とする数値には及ばなかった。今年度より課外を中止したが、教科科目横断型授業を推進するなど、正課授業の充実にも全職員で取り組むとともに、充実した進路指導のための一貫した進路指導システムを構築を目指す。また、7年間の「SSH」の成果を最大限に活用し、より一層の理数科教育の充実と、本校独自の「夢現プロジェクト」の遂行を通して、普通科へも応用していくことで学校全体の教育活動の活性化につなげていく。加えて今年度の「創立百周年」のテーマを「八高百代～世紀を翔る解なき問いへの挑戦!」とし、時代を見据えた諸改革への挑戦と、百周年記念事業を成功させることで、本校の更なる発展・充実にも繋げるとともに、八高生としての品格と高い志を持った生徒の育成に努める。		次代に繋がる創立百周年記念行事・事業・式典の成功	・創立百周年記念事業が次代の学校の発展と、生徒の成長に大きく貢献するよう、県、同窓会、地域等の関係諸機関との連携を密にして、具体的な計画を推進し成功させる。 ・自己研鑽に努め、他教科との連携を図り、主体的・対話的で深い学び(AL)として教科科目横断型授業を推進する。 ・意欲と向上心が掻き立てられる魅力ある学習指導を目指す。 ・基礎基本の確実な定着の上に深い学びが実現できるよう、指導の方向性の共有と3年間を見通した教科指導を組織的に実践する。		
		生徒の希望進路実現のための学力向上を図る授業改善	・生徒が中心となって活動する生徒会活動、学校行事、部活動を一層推進し、主体性・自立性の涵養に努める。 ・「家族のようなクラス・学年・学校」を目指し、人に対する思いやりと感謝の気持ちや愛校心のある生徒を育てる。 ・建設的な自己表現や責任を持った自己主張ができる生徒を育成する。 ・適切なヒドダウン・カリキュラムのもと、全教育活動において自他の人権尊重の精神を養う人権・同和教育を実践する。		
		主体性を最大限に引き出す生徒指導及び心身ともに健康で自他の人権を尊重できる心豊かな生徒の育成	・将来への展望を持たせる指導によって、高い志を抱いて難関大学への進学を希望する生徒を育てる。 ・生徒が希望する大学に合格できるよう、学力保障のための授業・課外等を充実させる。 ・進路指導の方法や指導内容、進路情報等を全体で共有し、一貫した進路指導システムの構築を目指す。		
		難関大学の合格者数の増大及び国公立大学合格者数の安定化	・SSHの成果を活用した理数科における教育を基軸として、課題研究等の探究的な活動を「夢現プロジェクト」として普通科にも応用するとともに、理数科と普通科が切磋琢磨する教育活動を展開する。 ・国際的視野を育成するため、海外語学文化研修等を充実させる。		
		SSHの成果を最大限に活用した理数科教育の充実と普通科への応用	・学校のホームページ等、多様なメディアを活用し、本校の特色ある教育活動や「百周年」を発信する。 ・市の中心に立地することを生かした教育制度・活動を検討し、PTA・誠鏡会(同窓会)等と連携して、教育効果を高める。 ・中学校や塾、各種説明会などに、直接足を運んで本校の教育活動をアピールする。		
広報活動の充実と開かれた学校づくりの推進					
		具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教務部 (学務課・マネジメント課)	3年間を見通した各教科の指導方法の確立と新テストへの対応意欲や向上心を高める授業改善と主体的な学習態度の育成	授業規律の確立と基礎基本の確実な定着 大学入試新テストへ向けたより効果的な審査問題の検討 アクティブ・ラーニング、教科横断型授業の推進とICTの積極的な活用			
教務部 (総務課・広報課)	行事や広報関係業務の円滑な運営及び学校認知度の向上	確実な連絡・調整による学校行事及び関係諸業務の円滑な運営 八高の魅力発信による志願者増を目的とした広報活動の実施 情報班と連携したホームページの円滑かつ速やかな更新			
生徒指導部 (生活指導課・生徒会課)	魅力ある学校づくりと規範意識の高揚・マナーの向上・リーダーシップの資質向上	学校行事や百周年記念事業等への積極的な取組 教育活動全般における規範意識の向上・リーダーシップの資質向上 PTAの協力によるマナーの向上			
生徒指導部 (保健課)	関係機関と連携した生徒の心身の健康づくり 安全安心な教育環境の整備の推進	SC・医療機関・保護者等の関係機関との生徒情報の共有と、支援体制の確立 100周年行事における保健・美化活動の円滑な実施と各委員会の積極的な参加 本校の実態に応じた教員研修会や生徒に対する講演会の実施			
進路指導班 (キャリア教育課・ガイダンス課)	学習の質の改善と3年間を見通した探究活動による、社会に有意な人材育成	志を曲げず、苦手教科から逃げず、最後まで粘り国公立大学に合格できる学力の保障 生徒の主体的活動の支援と大学出前講義等を通じた大学との連携強化 夢現プロジェクトを通じた、生徒の進路意識の高揚			
進路指導部 (アセスメント課・情報課)	すべての生徒の希望進路実現を目指した進路指導体制の確立	進路希望別のコース編成による土曜セミナー・放課後課外の計画・実施 進学情報の充実とICT教育を含む学習環境の整備 基礎学力の定着と個人面談の充実			
研修部 (研修課)	教科科目横断型授業(アクティブラーニング)の奨励	教科科目横断型授業の実施要領の体系化 指導方法を検証する教科内研修の充実 校内研修会の計画的な実施			
研修部 (図書課)	読書意欲の喚起による図書館の有効利用の促進	授業や総合的な学習の時間における図書館の積極的な利用の推進 図書管理電算化システムの有効活用 芸術鑑賞を通じた鑑賞眼・鑑賞態度の涵養			
理数部	自然科学に対する興味・関心・好奇心を高め、豊かな科学的素養を育成するとともに、将来の科学者・技術者としての芽を育てる	基礎的学習の発展として課題研究を実施、創造的探究心、科学的思考力、考察力等の育成 八幡高校全体の牽引車としての理数科生徒の自覚の育成 理数科ニュースの発行や中学校訪問などを通じた志願者増加			
第1学年	基本的な生活習慣の確立、基礎学力の定着、適切な進路選択	たくましく思いやりを持った、帰属意識、規範意識の高い生徒の育成 適切な文理選択と、2年次に向けての学力の伸長 家庭学習時間4時間の確保と総合偏差値58の維持			
第2学年	基礎学力の定着と、進路目標に向けて主体的に取り組む態度の育成	基礎学力の定着と個の能力に応じた学習指導の充実 進路実現に向けて主体的に取り組む態度の育成(偏差値64以上40名以上) 社会人基礎力の育成			
第3学年	最高学年としての規範意識・リーダーシップの育成「たしかな夢」にするための指導体制の導入と実践	学校行事や部活動を牽引できる生徒の育成 生徒の進路実現に向けた取組の改善や導入 多様な個性を尊重し切磋琢磨できる環境の創出			